

ケニスが取り組む教育CSRについて

「楽しくなければ理科ではない」をスローガンに、多様な教育CSRと事業活動を通じて、科学教育発展のため、教育現場に様々な提案を行っています。

1947年に教育用理化学機器の製造・販売会社としてスタートしたケニスは、その後、研究用理化学分野にも進出し、教育から研究まで幅広くサポートする企業として現在に至っています。全国に7ヶ所の事業所があり、学校を始めとする教育機関、大学などの研究機関へ商品を届けております。

当社は「楽しくなければ理科ではない」をスローガンに、子どもたちに豊かな自然体験や実験観察を通じて科学する心を育み、将来世界で活躍する科学技術系人材の育成に寄与しております。また、エネルギー教育や環境教育、ICT教育、防災教育などにも力を注いでおり、教育現場の要請に応える製品開発を進めております。

ケニス株式会社の概要 (2016年3月1日現在)

| | |
|--------|---|
| 社名 | ケニス株式会社 |
| 創立 | 昭和22年5月8日 |
| 代表者 | 西松正文 |
| 本社 | 〒530-0043 大阪市北区天満2-7-28 |
| 営業所 | TEL.06-4800-0721(代表) 東京・福岡・広島・神戸・札幌・仙台 |
| 資本金 | 8,000万円 |
| グループ会社 | 増田理化工業株式会社 |



教材の拡充

子どもたちの意欲を駆り立て、限りなき可能性を引き出す製品づくりをこれからも目指していきます。

創業以来、科学の感動を子どもたちに届けることを目的に、製品開発を続けてきました。理科教育振興法に基づいた実験器具の開発をベースに、常に新しいカリキュラムに対応し、最新の素材や技術の導入してきました。また、海外の優れた科学教材の日本への導入や大学の知見に基づく新教材の共同開発を積極的に行ってています。

海外教材の発掘



ラボディスク

最新の技術を導入



顕微鏡
カメラシステム

産学連携



温度差発電
モデル実験器

地球的な課題を知る

地球全体で考えるべき課題に対しても積極的に提案を行います。

環境問題やエネルギー、防災問題など地球全体で考えるべき課題に関してもケニスは理科教育を通じて積極的に提案を行っています。



科学を伝える

教材メーカーとして製造+aを

教材の開発だけではメーカーとしての責任は果たせないと考え、指導方法や最先端の実験プログラムの提案、直接子どもたちへ科学技術への興味・関心を引き出す活動を続けています。

社会人講師の実施



全国の学校で出前授業を実施

教員研修をサポート



理科部会や教員養成課程で
実験のポイントを紹介

実験プログラムの提案



SSHやSPPなどの最先端の
実験プログラムもサポート

TOPICS

社会 科学の甲子園・甲子園ジュニアへの協賛

優秀な中学生・高校生が全国レベルで集まり、知識と技能を競う「科学の甲子園」「科学の甲子園ジュニア」を、第1回大会から協賛企業としてサポートし、日本の未来を担う中学生・高校生の活躍を応援しています。

- 第1回 科学の甲子園（平成24年3月 兵庫県西宮市）
 - 第2回 科学の甲子園（平成25年3月 兵庫県西宮市）
 - 第3回 科学の甲子園（平成26年3月 兵庫県西宮市）
 - 第4回 科学の甲子園（平成27年3月 茨城県つくば市）
 - 第5回 科学の甲子園（平成28年3月 茨城県つくば市）
- 第1回 科学の甲子園ジュニア（平成25年12月 東京都渋谷区）
 - 第2回 科学の甲子園ジュニア（平成26年12月 東京都江東区）
 - 第3回 科学の甲子園ジュニア（平成27年12月 東京都江東区）



社会 JICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加

開発途上国で必要とされている、スポーツ・文化・教育・福祉などの支援を目的とした、JICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加し、顕微鏡・手回し発電機・上皿てんびんなどの教材をエチオピアへ寄贈しました。



社会 教材開発コンテストに協賛

全国小学校理科研究大会にて開催された教材開発コンテストに第1回から協賛を行い、ケニス賞として顕微鏡を贈呈しています。理科教育に携わる全ての方々をケニスはこれからも支援していきます。



環境 環境への取組み

2004年から6年間、弊社では「ISO14001」認証を取得し、環境活動に対するノウハウを蓄積してきました。現在では自社独自のルールを規定し、それに基づいた環境活動を行っています。



社会 被災地支援を行っています

東日本大震災で、多くの子どもたちが過酷な状況に置かれている中、ケニスができるることは何かを考え、復興支援授業の実施や(社)日本理科教育振興協会の支援事業に参加)、顕微鏡などの教育用理化学機器を被災地の学校へ寄贈いたしました。実験や観察の機会を通じて、子どもたちの笑顔が戻ることを心より願っています。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



受賞 工エネルギー・環境教育の推進

環境教育プログラムやエネルギー環境教育用教材の開発、また環境に優しい商品作りや梱包材の利用に、長年にわたり取り組んできました。その結果、大阪市より評価を受け、大阪市環境表彰を受賞しました。現在では環境教育研究会での講演や自治体の省エネ推進事業に協賛も行っています。



社会 科学館へ教材を寄贈

学校はもちろん、科学館などでも観察や理科実験を通して子どもたちの「発見・ときめき」する心を育むことができるよう、全国科学館連携協議会加盟の科学館に上皿てんびんの寄贈を行っています。

